Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

# (講演者紹介)「育めばいつか実がなる」~女性医師として種まき前のみなさんへ~

| メタデータ | 言語: Japanese<br>出版者:<br>公開日: 2018-05-16<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 大渕, 美帆子<br>メールアドレス:<br>所属: |
| --- | --- |
| URL | https://doi.org/10.20780/00031860 |

## 講演者紹介

「育めばいつか実がなる」
～女性医師として種まき前のみなさんへ～

大渕美帆子
一般財団法人平成紫川会　小倉記念病院　健康管理センター
部長

私は平成2年に本学を卒業しました。卒業後の入局は東京女子医大成人医学センターでしたが、最初の2年は消化器内科に所属して本大学病院で2年間内科初期研修をしてその後も女子医大関連の病院で3年間内科の研修をしました。卒後5年目に結婚し、6年目に夫の国内留学のため当初1年の予定で札幌に転居しました。札幌では非常勤で消化器内視鏡検査や内科外来をする兼業主婦の様な勤務を続け、結局夫の仕事の都合でそのまま9年間札幌で過ごしました。札幌での生活が10年目を迎える13年前に夫婦で話し合い、東京ではなく私の実家のある福岡県北九州市の小倉に戻って現在の職場である小倉記念病院健康管理センターに常勤医で就職することになり、そのまま現在に至っています。

医師になって今年で27年目ですが、この間に出会った素晴らしい人や反対に他山の石としたい人、また様々な経験で今の私が成り立っています。

札幌から小倉へ戻るときに現在働いている病院から健康管理センター常勤医師の話がありました。当初私は非常勤を希望していましたが、札幌で夫婦ともにお世話になり尊敬していた院長に「非常勤で色々な所に必要とされるのは一見とてもかっこいいが、結局先生の手元には何も残らないよ。」とアドバイスされました。その言葉が今の私の仕事に向き合うときの姿勢につながっています。

札幌で単位取得を始めた産業医は現在の病院の専属産業医から国家資格の「労働衛生コンサルタント」資格取得につながり、病院以外でも多数の事業所の産業医として日々メンタルヘルスや職場環境の相談を受け様々な人とのつながりになっています。札幌で続けた消化管内視鏡検査の御陰で今も健診の内視鏡検査を若い先生達に最新の知識を教えてもらいながら続けています。小倉では、保険診療になる前から暗中模索で始めた禁煙外来、病院内の事情で一時総合内科に異動になった時に迷いながら始めた女性外来や漢方治療。またゴルフクラブ入会をきっかけに始めた地元医師会の仕事は、医局などの支えがない私の社会的後ろ盾になっています。思い立って取得した検診マンモグラフィー読影医資格など、色々なことをスタートしてそれぞれあきらめずに継続して来ました。その結果が時を経て複合的につながり現在思いがけない実りになっています。

私はいわゆる学会などのキャリアを積みながら仕事に邁進している女性医師ではありませんが、愛情深い夫を始め周囲の人に支えられながら自分なりに工夫して休まず働き続けています。私の経験を通して、様々なスタイルで仕事を続ける女性医師がいることを医学生の皆さんに知ってもらい、これから前途洋々、でももしかしたら波瀾万丈な皆さんの将来に役立ててもらえれば幸いです。